

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ地方)	在リヨン領事館事務所 リヨン日本人センター治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 他	2008年8月31日	2008年8月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び領事館ルート	
調査項目:	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

- A、一般的傾向
- B、地区別 犯罪集計結果:補足文書 1
- C、多発の手法と場所の特定、防止策 :補足文書 2

A、一般的傾向

バカンスシーズンである今月は、例年通り空き巣の被害が数多く報告された。また、暴力を伴う車の窃盗事件(カージャッキング)が数件みられた。高級車だけでなく、一般の乗用車も標的となっているので注意が必要。具体例は挙げていないが、相変わらず路上でのかばん、携帯電話などの引ったくり事件も報告されているので気をつけること。

[補足文書 1]

B、地区別 犯罪集計結果

[補足文書 1]

2008年8月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アン県	イゼール県	ロワール県	合計
すり																	0
空き巣	1		1							3	1	2	5			1	14
置き引き																	0
引ったくり							2										2
万引き														1			1
強盗	1		1				1			1			1		1		6
窃盗(車・自転車)					1			3									4
カージャック			1										2				3
車内盗難												1					1
猥褻行為・強姦		1											1				2
いたずら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為	1	4	5	1	3	1		3	2	8	1	1	5				35
詐欺(カードなど)			1		1			2	2	3			1				10
拉致・誘拐																	0
破損・放火										1	1	3					5
ストーカー														1	1		2
麻薬取引・所持																	0
飲酒/無免許運転	1			1													2
その他															1		1
合計	4	5	9	2	5	1	3	8	4	16	3	7	15	2	3	1	88

備考欄: リヨン東→Mezrieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons
 リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon
 リヨン南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison
 リヨン北→Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

[補足文書 2]

C.多発の手口と場所の特定・防止策(新聞による報道記事から)

① 偽の肩書きを使った詐欺事件

- 8月16日正午ごろ、リヨン9区で一人暮らしをする87歳の男性宅に募金をつる男が訪問。男性は募金のために小切手に数百ユーロの金額を記入。小切手を受け取った犯人が男性宅を立ち去った後、被害者は財布が無くなっていることに気付いた。(プログレ紙8月19日付)
- 8月19日ヴィルユバヌ市で41歳の男が警察官を名乗って窃盗を働いていたとして逮捕された。調べによるとこの男は同市に住む隣人である88歳の女性宅に「宝石窃盗の調査をしている警察官」と名乗って侵入し、女性の携帯電話を盗んだ。次の日にまたこの被害者宅を訪れたところ、その場に居合わせた被害者の義理の息子が怪しく思い、犯人を退散させた。その後被害者らの証言により犯人が逮捕された。(プログレ紙8月22日付)

② 暴力をともなった車の窃盗事件

暴力をともなった車の窃盗事件(カージャッキング)が報告されている。

- 8月17日午後8時45分ごろ、リヨン北部のカンシュー市で44歳の男性がカージャッキングの被害にあった。停車中の車に覆面をして拳銃を持った男が徒歩で近づき、車の鍵を要求。被害者の男性が言うことを聞かないとわかると、犯人は男性の足を狙って発砲。男性が車の鍵を渡すと犯人はそのまま車を奪って逃走した。(プログレ紙8月19日付)
- 8月17日午前3時30分ごろ、リヨン北部のベルビル・シュー・ソーヌ市のホテル前で60歳代のカップルの乗る車に覆面をして拳銃をもった一人の男が近づいてきた。男は運転していた男性に拳銃を突きつけ車から降りるように要求。しかし、脅された男性は引退している前憲兵で、犯人の持っている拳銃に銃弾が無いことを見抜いたため要求を拒否。犯人ともみあいになったが、犯人はそのまま逃走した。(プログレ紙8月22日付)
- 8月22日午後11時45分ごろ、リヨン3区で35歳の男性が運転する乗用車が停車したところ、覆面をした三人組の男が突然男性に襲い掛かり、男性は車から引きずり出された。犯人らは被害者の乗っていたシトロエン・サクソに乗って逃走した。(プログレ紙8月26日付)

2件目は、被害者が拳銃についての知識を持っていたためにこのような行動にでたが、犯人を興奮させると命に関わる怪我を負う危険性がある。車の駐停車中は周囲の状況に十分に注意することが大切であるが、狙われた場合には、命を守るために出来るだけ犯人の言うとおりに行動すること。

③ バカンス中の空き巣、車を盗む

- 8月5日午後3時45分ごろ、リヨン南部イリニー市でバカンス中で不在の一軒家2件のガレージから車が盗まれた。犯人らは家の雨戸を壊して屋内に侵入。ガレージから車を盗んでその車で逃走したと見られている。2台のうち1台の車はその後パトロール中の警察によって発見された。(プログレ紙8月9日付)
- 8月18日早朝、リヨン南部のシャリー市でバカンスで留守中の一軒家の電動扉をこじ開けて空き巣が侵入。テレビ、オートバイ、乗用車が盗まれた。(プログレ紙8月20日付)

④ リヨン旧市街の駐車場で暴力事件

8月3日午前5時ごろ、リヨン5区サンジャンの駐車場で27歳の男性が2人組の男らに刃物で脅され、携帯電話、時計そしてクレジットカードを盗まれた。犯人らはその後クレジットカードで100ユーロほどを使用。警察の調査により、リヨン7区に住む19歳と21歳の犯人らが逮捕された。犯人ら宅からは偽の拳銃、液晶テレビおよび宝石などが発見された。(プログレ紙8月15日付)

⑤ オランピック・リヨネとグルノーブルのサッカー試合に関連する不審尋問

8月23日にリヨン・ジェルラン競技場で開催されたサッカーの試合に際して7件もの不審尋問、逮捕が記録された。7件の内容は麻薬所持、警官への暴力など様々であった。また、試合後競技場付近に駐車中の乗用車一台が放火の被害にあった。(プログレ紙8月25日付)

2.テロなどに関する一般治安情報

テロなどに関する報告は特に無し。

3. 在留邦人の被害事例

ローヌ=アルプ地方における被害報告は以下です。(在リヨン領事館ソース)

8月中旬

友人と2人でヨーロッパ旅行をしていた日本人学生。スペイン・バルセロナからの夜行バスに乗りリヨンまで来たところ、バルセロナにてバスの下部荷台に預けたはずのトランクがなくなっていた。バス会社の調査によると、バルセロナにて荷物を上げ下げ作業をしていた時点で、何者かに盗まれたのではないかとのこと。なくなったトランクの中には、パスポートと現金400ユーロ、トラベラーズチェック、デジタルカメラ、ビデオカメラ等が入っていた。

8月下旬

短期ボランティア活動に参加するため日本からフランスに来たばかりの学生。パリからリヨン・ペラーシュ駅に到着し、駅の公衆電話で電話をしていたところ、数人組みの子供たちが何か署名のようなものを求めて近づきまわりついてきた。通話中だったため無視していたが、気がつくとうエストポーチの中の財布が盗まれていた。慌てて追いかけたが、子供たちは逃走。財布の中には、旅行中の全財産である現金数百ユーロと日本円、クレジットカード、日本の銀行キャッシュカードが入っていた。

4.リヨン、ローヌアルプ地方今月の出来事

① 11歳の少年が路上で刺殺される

7月31日、アン県ラニュー市で11歳の少年が何者かに刃物で襲われ死亡しているのが発見された。その後の警察の調査により、事件が起こった前後に巡礼の旅と称してラニュー市に滞在していた犯人と見られる男女2名が逮捕された。(プログレ紙8月1、9日付)

② 学校施設を荒らす事件が相次ぐ

8月1日から2日にかけてグリーン市の小学校に十人ほどの生徒らが立ち入り、校内を荒し約20万ユーロの被害を出した。犯人グループのうち3名がすでに補導されている。

また8月15日から16日にかけての週末には、ヴィルフォンテンヌ市の中学校が標的となった。同中学校は改装が行われたばかりであったが、深夜放火された車が学校の玄関ホールに突進。ホールと建物の一部が大規模な損傷を受けた。(プログレ紙8月19日付)

③ メジュー市の新設モスクが荒らされる

8月20日から21日にかけて、2週間後に一般公開されるメジュー市の新設モスクに何者かが火炎瓶を投げ込み同施設の一部が被害を受けるという事件があった。その上モスクの壁面にはナチスに関連する落書きがあった。(プログレ紙8月23日付)

④ バカンスによる交通渋滞

バカンスシーズンに入り、ほとんど毎週末ローヌ=アルプ地方の交通網は渋滞を記録した。(プログレ紙7月12、29日付)

⑤ 消防車と空港バスの衝突事故

8月28日午後、リヨン市中心ウィルソン橋上でペラーシュ方面に向かっていた空港定期バスとガス漏れの疑いのある現場に急行中の消防車の追突事故があり5人が重軽傷を負った。事故にあったバスは橋の上の歩道に乗り上げ50メートルほど走行した後に街頭に追突して停止。、周辺地域は普段から交通量が多く、また歩行者も多い場所であったが幸いにも事故当時歩行者はいなかったために巻き添えの被害は出なかった。(プログレ紙8月29日付)

5.その他の情報

① アンブロシア(L'ambroisie)のアレルギー

Rnsa(仏大気生物学観測網)によると、ローヌ地方でのアンブロジア(ブタクサの一種)の花粉が大気中に大量に飛散しており、アレルギー反応を起こす可能性が非常に高くなっているという。詳細は<http://www.pollens.fr> まで(プログレ紙 8 月 16 日付)

② 悪天候続きのローヌ=アルプ地方

7月に続いてローヌ=アルプ地方では悪天候が続いている。局地的な豪雨やあられ、ひょうなどにより、ボージョレー地方のぶどう畑では大きな被害がでている。(プログレ紙 8 月 9、13 日付)また、週末に集中的な降雨やひょうが降ったりして、バカンスシーズンで混雑する幹線道路の交通も混乱した。

③ レジオネラ症感染例

8月はじめ、アン県の54歳の男性がレジオネラ症により死亡した。この男性は同県バラン市のアルケマ社に勤務しており、アルケマ社ではシャワー、空調などの施設の検査が行われた。レジオネラ症は1987年以降衛生管理局に申告が義務付けられている疾病である。(プログレ紙8月16日付)

また、8月10日から16日にかけて、オート・ロワール県サン=モーリス・ドゥ・リニオン市に居住、滞在していた5人がレジオネラ症かかっていることが判明した。これら5人の命に別状はないが、レジオネラ症は肺の感染症で、発熱、せきなど風邪に似たような症状が現れてひどい場合には死に至る。人から人への感染はない。(プログレ紙8月26日付)

また、ローヌ県では 8 月中に 10 件ものレジオネラ症感染者が報告されたが、衛生管理局によると毎月 7 から 12 件の感染例が報告されており特に心配するような状況ではないとしている。8 月中の感染者 10 人のうち 7 人はリヨン東部に集中しているが(ビリュバン、デシーヌ、サン=プリエスト、ブロン、サン=ボネ・ドゥ・ミュール市)感染者同士の共通点は発見されていない。(プログレ紙 8 月 19 日付)